

令和3年度「教育活動に関するアンケート」集計について

9月に実施いたしました「教育活動に関するアンケート」につきましては、保護者・学校評議員様合わせて92%という高い回収率でご回答いただき、ご協力本当にありがとうございました。

以下のように分析しましたのでご報告いたします。なお別紙に、具体的な集計の数値を載せさせていただきましたので、ご覧ください。

1 高評価いただいた点

全ての項目が「よくあてはまる・ややあてはまる」の合計回答が80%以上あり、この合計で毎年比較をしてきた85%以上の高評価項目も33項目ありました。コロナ禍で「安全・安心」に重点を置いた取組と、その中で児童生徒の病気や障がいの状況の違いに応じ、児童生徒一人一人を大切にしたい教育実践を心掛けたことへのご理解による高評価と考えました。

2 課題と対策

(1)	全体を通した情報発信の工夫 感染対策によるオンラインによる取組（授業参観、個別懇談、教育相談、研修会、行事参観）や、ホームページを充実させた情報提供を促進し、校内での参観が難しい保護者等の方に、日常の学習活動や学校の取組を身近に感じ知っていただける発信をする。また、各系の発行するたよりについては、引き続き内容の見直しや改善に努める。
(2)	項目6：交流等の活動 直接交流や集合型の活動が制限されているので、各部の集会や小中学部の居住地校交流でビデオ会議システムを活用して実施してきた。訪問教育を受ける児童生徒の活動参加も広がった。今後一層、情報環境を整え、オンラインでの体験活動実施を検討していく。
(3)	項目11：進路情報、項目27：キャリア（進路）支援 情報提供の方法を試行錯誤してきたが、昨年からの「進路のしおり」の改正や部ごとの通信の工夫、発行回数の増、色上質紙での発行を行った。小学部と中・高等部で、児童生徒・保護者が求める情報や支援の違いを個別に把握して、一層一人一人に応じた対応を進める。
(4)	項目21：児童生徒の実態に即した授業 感染症対策をとり、保護者との懇談や授業参観の機会を確保し、児童生徒の状況に応じた保護者への説明の機会をもつ。また、教員の専門性やスキルアップを目的とした研修会及び教材・教具の工夫、環境の整備に取り組む。
(5)	項目24：体罰、項目25：いじめ等 現在当校において、体罰やいじめの認知はない。今後も「自分の命、仲間の命を大切にする」意識を高めていく。児童生徒に愛情深く接するとともに、毎日のかかわりや保護者の方からの情報により、児童生徒の心身の状態や人間関係の実態把握に努め、認知された場合は、組織的な対応をしていく。
(6)	項目36：施設・設備 校舎、設備の日常及び定期的点検を継続した修繕、県教育委員会と連携し令和5年を目指した改修を計画的に進める。

今後は、懇談等を通して具体的なご意見をいただき、今回の分析と合わせまして改善を図り、児童生徒の教育活動の充実を進めてまいります。